

成長機会を逃さず、自ら飛び込む

デロイト トーマツ アンサングヒーローズ株式会社
ビジネスプロセスソリューション マネージャー
コンタクトセンターベンダー出身
異業種からの転職／チャレンジできる環境

※役職・内容はインタビュー当時のものになります。



Q.現在の仕事内容について教えてください。

A. 現在私は、とある官公庁における大規模システム更改プロジェクトに工程管理事業者として参画しています。規模の大きさから連携しているシステムも多く、リリースに向けては非常に煩雑かつ緻密な調整が必要です。プロジェクトの成功に向け、ITの知見・経験でリスク・課題の早期検知と提唱を、持ち前の推進力で各ステークホルダーへの働きかけとアプローチの整理を主に担っています。また、全体俯瞰での進捗管理も工程管理事業者としての役割であり、日々のタスクから中長期的な課題の状況も管理しなくてはなりません。遅延がどこに影響するか？の見極めと、ではどうするか？を常に考え、成功に導くのが今の仕事です。

Q. DTUHを選んだ理由を教えてください

A. 私の前職はコンタクトセンターベンダーだったのですが、日々の対応業務に少し物足りなさを感じていました。そんな中、当時の上司の一声で社内の各センターの課題解決を担うようになったのが、コンサルティングを知ったきっかけとなります。その後、グループ会社のコンタクトセンター立ち上げプロジェクトにアサインされた際、現DTUH代表の原さんと出会いました。ともに働く中で、思考の深さに驚かされました。これを機に、私は“考える”をさらに突き詰めたいと思い、入社に至りました。DTUHは自己の裁量で物事を進めやすく、垣根のない自由な社風です。デロイト トーマツ グループにジョインすることで多少の変化はありますが、それでも自分の意見や考えを述べやすいのは変わりません。既存の概念に縛られず、そこに疑問を持ち、より良くするためにどうすればよいか？を常に考え続けたい方にとってはマッチすると思います。

Q. DTUHで働くやりがいや魅力を教えてください

A. DTUHは、まだまだ若い会社です。デロイト トーマツ グループにジョインした今でもそれは変わりません。なので、DTUHとしてどうするべきか？を考えられる機会が多いのが魅力です。既に規則や進め方が完成している会社だと、「そういうものだから。」といったシーンが多々あると思います。仮に疑問を持ったとしても、全体を巻き込んで変革を起こすのは容易ではありません。もちろん、当社においても、それらを簡単に変えられる訳ではありませんが、歴史があったり、規模の大きい会社と違い、個々人の意見を上げやすい環境です。クライアントワークのみではなく、そういった企業成長を支える活動を通じ、会社をつくりあげていくという経験は、風通しの良い社風も相まって、当社ならではの良さだと思います。





Q.今後の目標を教えてください。

A. 当社に興味を抱き、さらにご縁があった方に対して、まずは、私の知見・経験を余すことなく伝えていきたいです。当然のことながら、私自身、組織としての更なる成長を望んでいます。そのためには、コンサルタントとしてのノウハウを事業部全体に伝播し、昇華させていくのは不可欠だと考えています。また、自身の所属する部署のみならず、他部署も巻き込んだ全体最適を常に考え、それを実現していく当事者で在り続けたいと願っています。